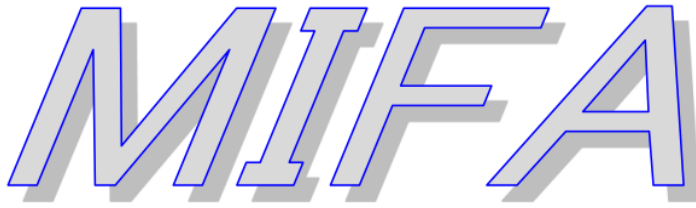


発行日：2022 年 7 月 31 日

目 次

コロナをともに乗り越えよう！	1
私の漢字物語	2
私のゴールデンウィーク	3
台湾の男女平等について	4
2022 年度 議案承認のご報告	6
2022 年度 役員・委員	6
状況表	7
役員会便り	7
8 月～10 月の予定	8

ま い ふ あ



No.144 Jul/Aug/Sep2022
 まちだ地域国際交流協会
 Machida International
 Friendship Association
 ボランティア団体/会長 黄川田 南
 URL: <http://mifa-machida.info/>

コロナをともに乗り越えよう！ 会長 黄川田 南

会員の皆さま、いつもご協力くださりありがとうございます。

MIFA は、コロナの感染防止のため休止していた日本語教室を 7 月 2 日（土）から再開しました。5 月頃からの感染者数の減少傾向がしばらくは続くだろうとの見通しで再開を決定したのですが、それは大きく外れ、現在、急激な感染拡大が進んでいます。このような状況の中、役員会では、これまでの経緯や世の中の動向を踏まえ、日本語教室の休止・再開の基準の見直しを行いました。新しい基準は次の通りです。

東京都または神奈川県に
まん延防止等重点措置の適用または緊急事態宣言の発出で休止、解除の 2 週間後を目標に再開

現在主流のオミクロン株は、感染力は強いものの重症化リスクが比較的低いと言われています。感染者数がある程度増加しても、国や自治体はなるべく行動制限を設けず、社会経済活動を活発化させる方向へと進んでいます。一方、感染者数の減少スピードは緩やかで、感染者数が下がりきらないうちに次の感染拡大の波が来ています。しばらくは一定程度のコロナ感染者がいる状況が続くと考えるべきでしょう。このような中、日本語学習を望む外国人の要望や会員の活動意欲に応え、活動を維持していくには、感染対策を行いつつもなるべく活動を制限しない方向へ MIFA も舵を切ることが必要と判断しました。新しい基準では、従来の基準よりも高い感染リスクを受け入れながら日本語教室を開催することになります。



再開初日の土曜 A クラス。このときは参加者が少なかったのですが、その後、回を重ねる度に参加者が増えています。

今後、日本語教室の休止・再開は新しい基準に沿って判断します。といっても、どこまで感染リスクを受け入れられるかは個人差があります。基礎疾患があったり、ワクチン未接種だったり、感染した場合に重症化するリスクが高い方がいるかもしれません。教室開催中であっても対面学習を行うかどうかは、皆さまご自身でご判断いただき、無理のない範囲で行ってください。また、日本語教室では引き続きマスクの着用や消毒、換気、間隔を空けるなど感染対策の徹底をお願いします。コーディネータの方々には大きな負担となっていると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナをともに乗り越えていきましょう。皆さま、ご協力よろしくお願い申し上げます。

わたし かんじものがたり 私の漢字物語

はじ かんじ す
初めて漢字が好きになりました

まつせ もとおやこ がくしゅうしゃ
松瀬ラン (ベトナム・元親子クラス学習者)

● かんじ こわ わたし 漢字が怖かった私

私の母国はベトナムです。日本に来て6年になりました。ベトナムでは漢字を使いません。漢字はいつも怖いし、難しいし、意味がわかりませんでした。6年間に二人子どもが生まれました。3さいになると幼稚園に行きました。幼稚園は家に手紙をいっぱい送ります。私は手紙をいくら見ても意味がわかりませんでした。心配し、悲しいし、やることもまちがいがいっぱいありました。子どもはママに怒りました。私は漢字を読みたい。意味もわかりたいです。私は今、集中して漢字を勉強しています。そこで勉強したことを書きます。



● かんじ だいじ 漢字で大事なこと

<漢字の読み方> 同じ漢字にふつう訓読みと音読みがあります。訓読みはもともと日本のことばです。聞いただけで意味がわかります。音読みはもともと中国語の音です。聞いただけでは意味がわかりません。たとえば、「見」の訓読みは「み(る)」、音読みは「ケン」です。「物」の訓読みは「もの」、音読みは「ブツ」です。「花」「開」の訓読みは、それぞれ「はな」「ひら(く)・あ(く)」、音読みはそれぞれ「カ」「カイ」です。

まつせ かこく
松瀬ランさん。9カ国の仲間や子どもとともに家庭農園で野菜作りを楽しんでいます。

<右と左にわかる漢字> 漢字はまん中で左と右にわかります。左側を「へん」、右側を「つくり」といいます。漢字は「へん」を見たら意味はだいたいわかります。「つくり」を見たら音読みの音がだいたいわかります。「同」の左側に「金へん(金)」がつくと「銅」、「にくづきへん(月)」がつくと「胴」、「さんずいへん(冫)」がつくと「洞」、「りっしんべん(尸)」がつくと「恫」になります。「同」の音読みは「ドウ」なので、「銅」も「胴」も「洞」も「恫」もみんな「ドウ」と読みます。でも、意味はそれぞれちがいます。金へんは「金ぞく」に、にくづきへんは「からだ」に、さんずいへんは「水・流れ」に、りっしんべんは「心」に関係しています。

<漢字を組み合わせたことば> 二つ以上の漢字を組み合わせると新しいことばになります。「熟語」といいます。たとえば、「見」と「物」を組み合わせると「見物」、「開」と「花」で「開花」、「花」と「見」で「花見」。熟語はふつう音読み同士、訓読み同士が組になります。「見物(ケンブツ)」は音読み同士、「花見(はなみ)」は訓読み同士の組み合わせです。でも、音読みと訓読みの組み合わせもあります。たとえば、「重箱(ジュウ+ばこ)」、「消印(けし+イン)」など。

に じ じゅくご
二字熟語

例A { 開花 (カイカ)
見物 (ケンブツ)
乗車 (ジョウシャ)

例B { 水源 (スイゲン)
語源 (ゴゲン)
電源 (デンゲン)

例A は前の漢字が動詞です。「開く」「見る」「乗る」。例A では前の動詞が熟語の意味の中心で、うしろの漢字は動詞の主語や目的語をあらわします。「開花」は「花が開く(主語)」、「見物」は「物を見る(目的語)」、「乗車」は「車に乗る(目的語)」。例Aのように、前の漢字が動詞のとき、「する」をつけて新しい動詞ができます。「開花する」「見物する」「乗車する」。

例B はうしろの漢字が意味の中心で、前の漢字はその意味がどんなかをくわしく説明します。「源」のつくりの「原」は「始まり」の意味です。それにさんずいへんがついて、「水や流れの始まり」の意味です。「源」を「水」「語」「電」と組み合わせて、「水源」「語源」「電源」という新しいことばができます。それぞれ「水や流れの始まり」「語（ことば）の始まり」「電気の流れの始まり」という意味です。

＜二つの言い方＞ 同じことに訓読みが中心の言い方と音読みが中心の言い方があります。「桜の花が開いたので花見に行きます」(訓読みの言い方)。「桜が開花したので見物に行きます」(音読みの言い方)。

● 漢字が好きになった私

「電源」の漢字を仕事で見ました。最初の「電」は意味がわかりました。でも「源」は意味がわかりませんでした。漢字を勉強してだいたいの意味がわかりました。うれしかったです。私の友達にも「漢字は難しくない。おもしろい」と話しました。漢字の勉強でいいことがあります。幼稚園やよこはまのお知らせを読んで意味がわかります。そしたら子どもをそこへつれて行けます。新しいことばの意味がわからないとき、漢字の読み方がわかったら日本語のじしょで意味をしらべられます。そのあと、私のせいかつや世界が広がります。これから漢字を勉強して意味がぜんぶわかりたい。N2にうかりたいです。

私のゴールデンウィーク

モニカ・カираジャニ (インド・元月曜クラス学習者)

今年のゴールデンウィーク、私と友達は長野と新潟を訪れました。5日間の旅行でした。



友達と松本城で

左から2番目がモニカさん。その右のスハニさんは火曜クラスで学習中。

初日は善光寺、松本城、諏訪湖を訪れました。善光寺はとても混んでいました。そこはいたるところに活気がありました。松本に泊まりました。諏訪湖はとても穏やかでした。

2日目は上高地を訪れました。自然はとても美しいです。山は雪で覆われていました。空気は新鮮でした。たくさんの写真を撮りました。

3日目は立山黒部アルペンルートを訪れました。雪の壁を歩いた経験はとても素晴らしかった。私はこれまでそのような景色を見たことがありませんでした。まるでスイスのようなようでした。

4日目は新潟県の清津川を訪れました。それは

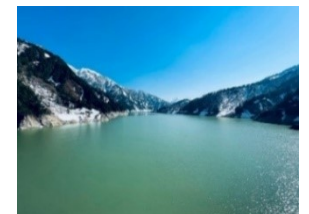
光のトンネルと呼ばれています。このトンネルはユニークで、ここでも自然は素晴らしかったです。清津川はとてもきれいでした。鳥の鳴き声、澄んだ空を楽しむことができました。

最終日は新潟ツアーをしました。11 kmの美しい海岸の景色を見るためにカイリトレインと呼ばれる特別列車に乗りました。しばらく笹川流れに立ち寄り、おいしいアイスクリームを食べて、その夜東京に戻りました。

旅行はたくさんの美しい思い出と素晴らしい経験で終わりました。旅行中の天気も良かったです。日本の美しさを体験できたことに感謝しています。



善光寺



黒部湖



清津峡溪谷トンネル

台湾の男女平等について

蔡 宜真・張 庭維 （ともに台湾・火曜クラス学習者）

近年、男女平等の意識が社会の発展とともに重視されてきた。例えば、現在の台湾の総統である蔡英文さんは女性初の台湾の総統である。日本では、国家公務員総合職の今年度春の採用試験で過去最多の 573 人の女性合格者を出した (30.6% で前年度より 12 人増)。女性は社会的な地位がだんだん上がっていく。ここでは私たちが生まれ育った台湾の男女平等について紹介する。



蔡さん（左）と張さん（右）

ともに東工大の博士課程に在籍。蔡さんは土木防災工学を、張さんは構造工学を専攻。

進む女性の社会進出

私（蔡）の場合、子供の頃から母親に『女性なので〇〇ができない』という口実を作ってはダメだ。世界では女性の理科系の専門家や政治家、企業家などいるから男性ができることは女性もできる」とよく言われた。こういう家庭教育を受けているので、大学の専攻は自由に選べた。そして私は大好きな理科系の分野を専攻して来た。その選択と祖父が希望していた文系の専攻が違うけれども、祖父は私に怒ることなく、ずっと私を支え「孫娘は女性だけど能力が男性に負けない」と言ってくれた。そのため私の成長過程の中で「夫は仕事、妻は家庭」や「男性は理科系、女性は文系」というステレオタイプが少なくなった。私に限らず台湾では、女性でも男性でも将来に何の仕事がしたいかを考えて、自分の好きな専門を選ぶ。ちなみに台湾に「リケジョ（理系女子）」という言葉はないと思うが、台湾の女性は「リケジョ」だからという理由でプレッシャーを感じることはないと思う。

東京大学名誉教授の上野千鶴子さんは日本の男女平等のコメントで「7 割の女性が働いているけれど、その約 6 割は非正規労働者だ」と言った。そのコメントに私たちは驚いた。台湾政府の資料によると、台湾の女性非正規雇用者は女性全体の就業人数の 7.5% だけだからだ。

台湾の会社では性別にかかわらず、個人の能力だけが採用基準だし（3K 職場の労働者を除く）、女性の部長と CEO の人数は年々増加している。インタビューでも彼女たちは自分自身をみだりに卑下しないで、精一杯に働いて成功にだんだん近づいていく、と言っている。だから台湾では性別よりも、自らの手で努力を重ねて個人としての力を出すことだけが大切だと考える。私たちもそう信じている。

男女平等 社会に浸透

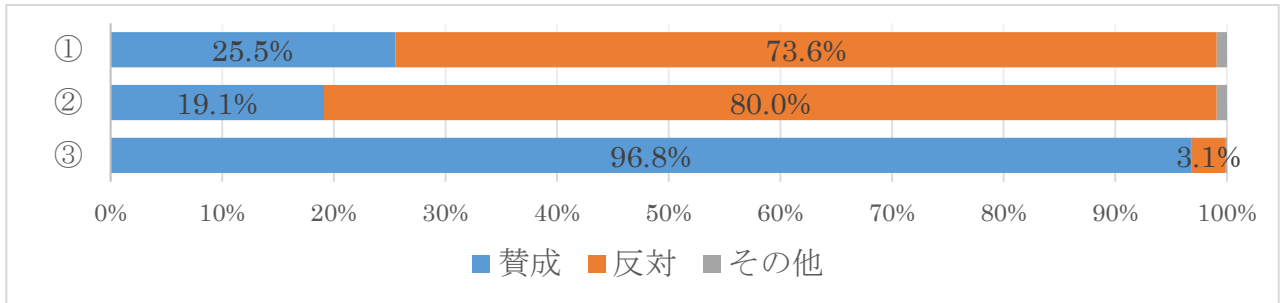
台湾では男女平等の観念がどのぐらい社会に浸透しているだろうか。台湾行政院（日本の内閣に相当）が「2021 年度ジェンダー平等の観念について電話での世論調査」を行った（調査期間は 2021 年 5 月 13 日から 15 日、有効サンプル数 1080、信頼度 95%）。この調査から男女平等に関する(1)日常的な面と(2)社会的な面についての結果を示す。

(1) 日常的な面について

図 1-①「お金を稼ぐ責任は男性、家事の責任は女性と考えている」に賛成 25.5%、反対 73.6%

図 1-②「夫より妻は家事をする時間が長くあるべきだ」に賛成 19.1%、反対 80.0%

図 1-③「大事な選択を決める場合は妻と夫の意見は同程度に重要だ」に賛成 96.8%、反対 3.1%



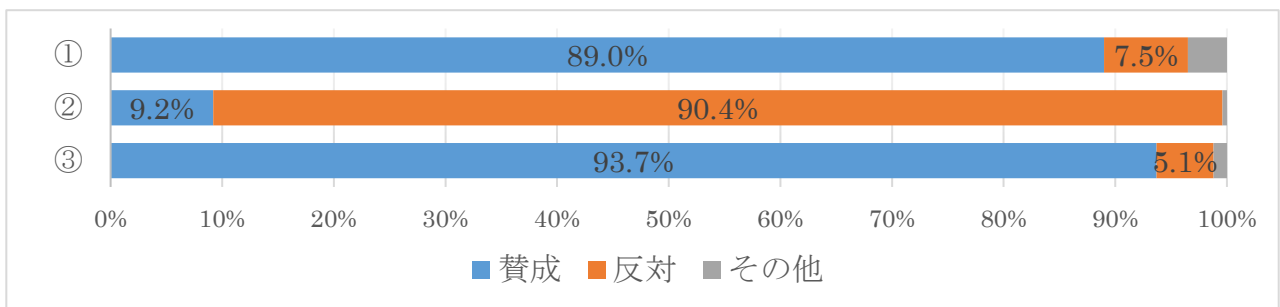
(図 1) 日常的な面についての調査の統計分析

(2) 社会的な面について

図 2-①「職場では性別にかかわらずリーダーになれる」に賛成 89.0%、反対 7.5%

図 2-②「経済状況が悪化したら女性が先にクビになるべきだ」に賛成 9.2%、反対 90.4%

図 2-③「女性は理科系を専攻するのがいい」に賛成 93.7%、反対 5.1%



(図 2) 社会的な面についての調査の統計分析

男女平等の観念が社会全体に広く浸透していることを調査結果は示している。台湾では、家族の中で、夫と妻の家事の分担の割合は一緒になることが多くなった。職場では男性より女性の地位が低いことはなく、不景気の場合も女性のみをクビにすることも無くなった。また、理科系の女性は社会に肯定的に受け入れられている。

■ 日本から学んだ男女平等

昔、台湾は男女平等の観念がなかった。日本の植民地時代に台湾の女性は教育を受け始めた。そして、日本政府は男女平等の観念を台湾人たちに伝えつづけた。中学時代に先生から、日本は男性優位主義の国だと聞いた。日本のドラマで、日本女性の職場での悩みを見た。女性に対して台湾の社会は日本の社会よりも優しいかもしれないという結論を出した。そして「なぜ台湾はかつて日本から男女平等の観念を学んだのに、今では現実には台湾の方が日本より進んでいるのか？」という質問が生まれた。私たちは今、その答えを探している。

2022 年度 議案承認のご報告

一昨年度及び昨年度に引き続き今年度も、コロナ感染拡大により定時総会を中止しました。代わりに議案書を会員の皆様へ 4 月にお送りし、議案の承認可否をハガキにて 4 月末までに返信いただきました。すでに会員の皆様には 5 月に文書で結果を報告しましたが、改めて結果をご報告いたします。

2022 年 4 月時点の全会員 103 名に議案書を送付し、77 名から返信いただきました。白紙が 1 枚ありましたが、76 名の方から全議案の承認をいただきました。会則第 15 条（総会）「総会の成立には委任状を含めた 2 分の 1 以上の出席を必要とし、議案の採決には出席会員の過半数による賛成をもって可決される」により規定される議案の可決条件と同等の賛成が得られたと判断し、第 1 号議案から第 6 号議案まですべて承認されました。

第 1 号議案	2021 年度活動報告
第 2 号議案	2021 年度決算並びに監査報告
第 3 号議案	任期満了に伴う役員改選
第 4 号議案	2022 年度会費の無料化（案）
第 5 号議案	2022 年度活動計画（案）
第 6 号議案	2022 年度予算（案）

なお、第 4 号議案が承認されたことで今年度は会費を徴収しないことになりました。退会の申し出がない限り、2022 年 4 月時点で会員であった方は引き続き会員となります。1 名の方より退会の申し出がありましたので 2022 年 5 月時点の会員は 102 名となりました。

2022 年度 役員・委員

会 長 黄川田 南 副会長 松崎 罔夫
 語学部長 程原 清明 副部長 鈴木 郷子 委 員 小島 隆志 早田 紀子 町田 和子

コーディネータ 及び サブコーディネータ

月 曜 植田 哲史 村山 桂子 水曜夜 前田 雅代 星崎 静子
 親 子 石川 久恵 鈴木 郷子 木 曜 近藤 雅彦 山本 由美子
 火 曜 木村 桃子 揚石 久子 土 曜 武田 伴子 武田 伴子(A) 青山 恵理子(B)

友好部長 樋村 淳 委 員 金田 恵
 会計部長 大江 康熙 副部長 依岡 雅人
 広報部長 濱田 敏裕 副部長 前田 昌子 委 員 池田 晴美 立石 滋子
 総務部長 鈴木 礼子 委 員 大島 英子 近藤 公美
 監 査 役 土浦 千代子 古谷 民子
 顧 問 大和田 昭文 長尾 勝人 渡辺 紀子

状 況 表 2022. 7. 22 現在

◆学習者数

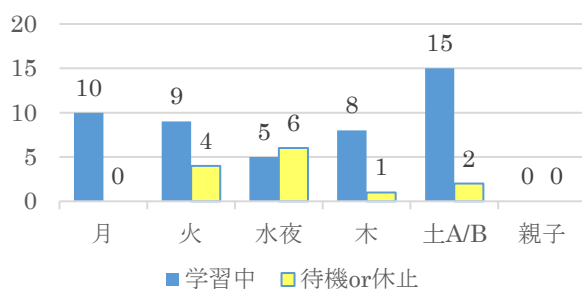
学習中	47
待機	13
合計	60

◆支援者

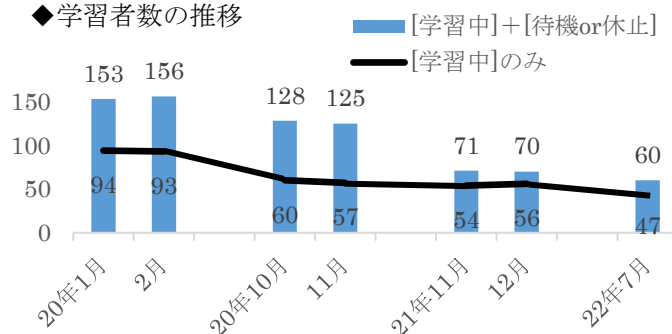
支援中	47
待機 or 休止	54
合計	101

学習中にはリモート学習中の 8 名を含む
支援中にはリモート支援中の 8 名を含む

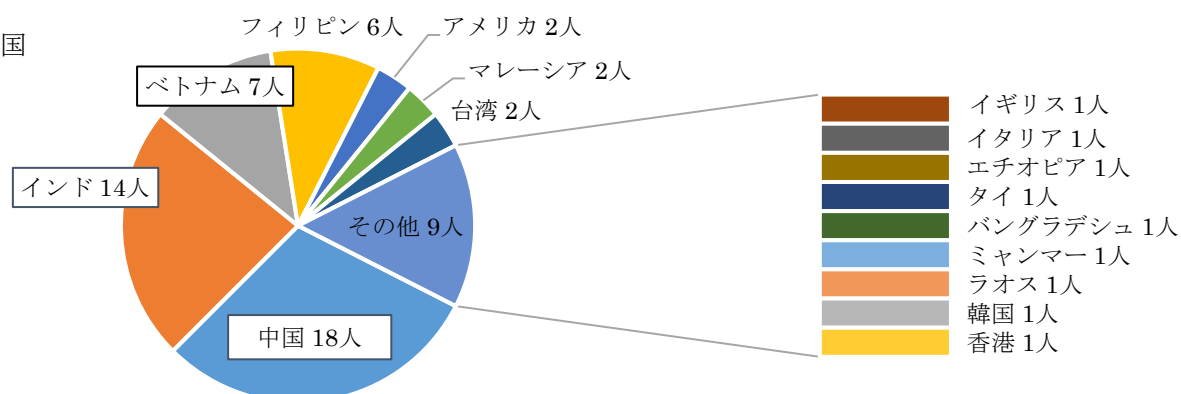
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国



役員会便り

毎月第2火曜の定例役員会と5月20日の臨時役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします

4月12日	2022年度も2020, 2021年度と同様に総会の開催は見送り、代替として議案書資料を送付し返信ハガキで承認を得ることとしましたので、その準備を進めています - MIFA ニュース 143 号を発行しました。HP へのアップ、外部団体へ送付済みです。会員へは総会議案書とともに4月14日に郵送します
5月10日	- 総会議案書資料は会員 103 名に郵送、返信が 77 名（内 1 名は無記入のため無効）からありました。会則第 15 条により、2022 年度 MIFA 活動計画案は承認されました - 議案書承認の結果報告についてのハガキを会員に郵送します - 感染者数がやや下降傾向を示すようになり、教室再開について今までの基準通りでよいかを議論するために、次回の定例役員会の前に臨時役員会を開催し、状況に即した話し合いの場を持つことにします - 新年度メンバーでのコーディネータ会議をリモートではなく対面で開催しました
5月20日	- 東京都モニタリング会議が発表する感染状況、医療提供体制のうち医療に関しては既に警戒レベル 2 の黄色になっており、感染の方も警戒レベル 2 になることが期待され、日本語教室の再開を考えられる段階になってきました - 再開時期については、次回 6 月定例役員会で確認します

6 月 14 日	・ 東京都モニタリング会議の警戒レベルに変更はありませんが、重症化のリスクが少ないとされること、国と東京都の規制緩和、他団体の教室再開状況も考えて MIFA も 7 月から教室を再開することにします ・ 夏休み前 1 ヶ月の教室開催は会員のモチベーション維持にも好ましいと思われます ・ 再開にあたってはマスク着用、手指消毒、換気、アルコール消毒などの感染対策の徹底継続をお願いします ・ 教室の 1 時間 2 グループ制は解除、2 時間制とし、また当面学習費は徴収しません ・ 学習費を徴収する段階になったら、リモート支援を続けるペアも月 1 回は教室に出席するようにし、各種連絡の確認をする他、MIFA 会員としての意識を持ってもらうようにします ・ 1993 年設立の MIFA は来年 30 周年という節目を迎えます。現時点で具体的な予定は立てられませんが、来年秋に何か行事などができるとよいと考え、準備を心がけます ・ 学習希望者から HP 宛に問合せがしばしば来ます。休止中ということで断っていましたが、これからは受け入れ再開という案内をするようにします
7 月 12 日	・ MIFA、「町田国際交流センター (MIC)」、「町田日本語の会」の 3 者会議が 6 月 17 日に開かれ、MIFA からは会長、語学部長、総務部長が出席し現況報告などの話し合いをしました ・ 7 月 2 日土曜日から教室を再開しましたが、このタイミングで感染拡大が進行し心配な状況です。しかし「まん延防止等重点措置」または「緊急事態宣言」のような行動制限がかからない限り、とりあえず教室は続けることにします ・ 教室の休止を長期にわたって続けると支援者、学習者の双方に一体感が失せ、会の存続が懸念されるような事態になることを避けるためです ・ 「スピーチ大会」を今年度中に開催したいと考えていましたが、来年度前半に見送ることになりそうです。友好部のイベントも同様に今年度の実施は難しいと思われます

8月～10月の予定

7 月 29 日(金)～8 月 31 日(水) MIFA 夏休み

9 月 13 日 (火) 13:30～15:30 役員会 セリがや会館 大会議室

10 月 11 日 (火) 13:30～15:30 役員会 セリがや会館 大会議室

掲載文及び写真の権利は MIFA に属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]

濱田敏裕 池田晴美
立石滋子 前田昌子

MIFA ニュース No.144 Jul/Aug/Sep2022

発行日：2022 年 7 月 31 日

問合せ先：濱田敏裕

e-mail：mifa_machida@ybb.ne.jp

ホームページ：http://mifa-machida.info/



ホームページ